

総目次

第33巻 第1～14号(2024年1～12月)

(数字は初頁, ①～⑭は号数を示します. 著者名は原則として第2著者までを表示しています)

●特集

◇リハビリテーション医療で活用できる東洋医学

- 特集にあたって (藤原清香) 13 ①
 リハビリテーション医療で活用できる漢方治療:
 総論 (美津島 隆) 14 ①
 内科系疾患のリハビリテーション医療に活用できる
 漢方治療 (加藤士郎 玉野雅裕・他) 19 ①
 漢方治療の処方の実例
 (河原章浩 小川恵子) 26 ①
 リハビリテーション医療に役立つ鍼灸治療: 総論
 (粕谷大智) 34 ①
 リハビリテーション医療に役立つ鍼灸治療: 治療と
 その実際 (伊藤和憲) 41 ①
 鍼灸治療の海外での取り組みや治療の実例, 医療
 サービスとしての現状 (寺澤佳洋) 47 ①

◇筋萎縮性側索硬化症 (ALS) への多彩な連携と
リハビリテーション医療

- 特集にあたって (海老原 覚) 111 ②
 ALS クリニックの効果とリハビリテーション医療
 (海老原 覚 勝又泰紀・他) 112 ②
 ALS の国内ネットワーク, 国際ネットワーク, 患者
 ネットワーク (渋谷茉莉 平山剛久・他) 117 ②
 ALS における手指の巧緻性障害に対するロボットリ
 ハビリテーション (山川 勇) 122 ②
 ALS 患者における意思伝達装置 (井村 保) 128 ②
 ALS における栄養と摂食嚥下リハビリテーション
 (早乙女貴子) 135 ②
 新規 ALS 治療薬とリハビリテーション医療
 (山崎 亮) 142 ②

◇失語, 失行, 失認のリハビリテーション

- 特集にあたって (加藤徳明) 211 ③
 失語症 (前島伸一郎 半井慎太郎・他) 212 ③
 発語失行 (大槻美佳) 218 ③
 失行 (中川賀嗣) 225 ③
 半側空間無視 (水野勝広) 231 ③
 視覚性失認 (平山和美) 238 ③

【コラム】

- 聴覚性失認の評価とリハビリテーション
 (伊藤典子 加藤徳明) 245 ③

◇ICUのリハビリテーション診療

- 特集にあたって (酒井良忠) 305 ④
 ICU 入室患者の特徴と ICU-AW
 (井上茂亮) 306 ④
 ICU 患者のリハビリテーション診療におけるリスク
 管理 (新見昌央) 313 ④
 ICU 患者の早期離床プロトコル (笠井史人) 319 ④
 ICU のリハビリテーション診療におけるチーム医療
 の実践—早期離床・リハビリテーション加算の算定にかか
 わらず行うべき ICU での取り組み—
 (幸田 剣 寺村健三) 327 ④
 ICU 人工呼吸器装着患者におけるリハビリテーショ
 ン診療 (永富彰仁 佐々木信幸) 335 ④
 ICU 専従理学療法士のメリットとデメリット
 (對東俊介 筆保健一・他) 344 ④

◇神経難病患者の在宅生活におけるリハビリテー
ション医療の役割

- 特集にあたって (中馬孝容) 411 ⑤
 難病患者に関する介護保険専門員へのアンケート調
 査からの課題 (中馬孝容) 412 ⑤
 パーキンソン病のリハビリテーションの標準化への
 取り組み (市川 忠) 420 ⑤
 環境調整も含めた在宅での生活指導のポイント
 (植田友貴) 426 ⑤
 摂食嚥下とコミュニケーションに関するリハビリテー
 ション支援 (地主千尋) 433 ⑤
 神経筋難病患者の就労の課題 (小林庸子) 439 ⑤

【コラム】

- 在宅リハビリテーション医療における臨床心理士の
 役割と展望 (新明一星) 448 ⑤
 PD Cafe を立ち上げて, みえてきたこと
 (小川順也) 451 ⑤

◇各種障害を有する小児に対する支援機器のあり
方と可能性

- 特集にあたって (小崎慶介) 513 ⑥
 小児療育における支援機器の特徴と今後の展望
 (繁成 剛) 514 ⑥
 動くことは学ぶこと—身体不自由がある子ども達に
 としての電動移動機器とは (高塩純一) 521 ⑥
 脳性麻痺等の肢体不自由児に対する装着型移動支
 援機器の現状と未来 (丸島愛樹) 528 ⑥

身の回りのものを活用するシンプルテクノロジー (杉浦 徹) 535 ⑥	心臓・腎臓の重複障害の回復期・生活期リハビリ テーション (佐藤聡見) 757 ⑧
デジタル製造技術の活用—当事者ニーズを汲み取り問題 解決につなぐ (渡邊圭介) 540 ⑥	心臓・腎臓の重複障害の在宅医療および緩和ケア (吉本明子 弓野 大) 766 ⑧
ICT 機器を用いた重度重複障害児の意思伝達支援 (引地晶久) 546 ⑥	
◇誤嚥性肺炎とリハビリテーション	◇介護保険リハビリテーションマネジメントの 現状と課題～医療・介護連携を進めるために～
巻頭カラー Web 座談会	特集にあたって (三上幸夫) 837 ⑨
誤嚥性肺炎による影響と、老衰過程の誤嚥性肺炎予防 (海老原 覚 松尾浩一郎・他) 600 ⑦	介護保険制度の現状と課題 (上田貴代) 838 ⑨
第1章「誤嚥性肺炎の予防」	通所リハビリテーションの現状と課題 (近藤国嗣) 848 ⑨
口腔機能・口腔衛生 (松尾浩一郎) 610 ⑦	訪問リハビリテーションの現状と課題 (本田賢次郎 岡本隆嗣・他) 857 ⑨
誤嚥性肺炎予防の栄養管理 (百崎 良) 618 ⑦	介護老人保健施設でのリハビリテーション・マネジ メントの現状と課題 (大河内二郎) 865 ⑨
嚥下機能に影響する薬剤とその管理 (野原幹司) 622 ⑦	医療保険と介護保険のリハビリテーション連携の現 状と課題 (三上幸夫 塩田繁人・他) 873 ⑨
誤嚥性肺炎予防のための嚥下機能評価法：簡易検査 (寺本信嗣 渡邊敬康) 628 ⑦	
誤嚥性肺炎予防のための嚥下機能評価法：舌圧測定 (栢下 淳) 635 ⑦	◇障害者のかかりつけ医としての 包括的リハビリテーション診療
誤嚥性肺炎予防のための嚥下機能評価法：VE, VF (柴田斉子) 640 ⑦	特集にあたって (中村 健) 939 ⑩
第2章「疾患病態別の誤嚥性肺炎予防」	脳血管障害者のかかりつけ医としての包括的リハビ リテーション診療 (川手信行) 940 ⑩
認知症に伴う摂食嚥下障害と誤嚥性肺炎の予防 (清水充子) 652 ⑦	脊髄損傷者のかかりつけ医としての包括的リハビ リテーション診療 (菊地尚久) 946 ⑩
脳血管障害 (山徳雅人 佐々木信幸) 659 ⑦	脳性麻痺患者のかかりつけ医としての包括的リハビ リテーション診療 (小崎慶介) 953 ⑩
神経筋疾患 (野崎園子) 666 ⑦	ポリオ罹患者のかかりつけ医としての包括的リハビ リテーション診療 (蜂須賀明子 村上武史・他) 959 ⑩
重症心身障害児(者) (田中総一郎) 673 ⑦	慢性心不全患者のかかりつけ医としての包括的リハ ビリテーション診療 (白石裕一 的場聖明・他) 966 ⑩
気管切開 (香取幸夫) 682 ⑦	慢性閉塞性肺疾患患者のかかりつけ医としての包括 的リハビリテーション診療 (海老原 覚 勝又泰紀・他) 973 ⑩
第3章「誤嚥性肺炎の治療」	
誤嚥性肺炎の治療目標 (藤谷順子) 692 ⑦	◇リハビリテーション・栄養・口腔の 三位一体の取り組み
急性期治療—薬物療法と非薬物療法 (海老原 覚 朴 依真・他) 697 ⑦	特集にあたって (吉村芳弘) 1045 ⑪
誤嚥性肺炎急性期の嚥下機能評価と経口摂取の拡大 (前田圭介) 702 ⑦	リハビリテーション・栄養・口腔の三位一体の取り 組みとは (吉村芳弘) 1046 ⑪
長期化した誤嚥性肺炎後生活機能低下からの回復 (池永康規) 708 ⑦	セッティング別の三位一体の取り組み：急性期 (角田 亘) 1052 ⑪
【コラム】	セッティング別の三位一体の取り組み：回復期 (関口和哉 菅原英和) 1059 ⑪
咀嚼は嚥下を難しくするか (井上 誠) 646 ⑦	セッティング別の三位一体の取り組み：生活期 (佐々木 淳) 1067 ⑪
在宅訪問管理栄養士 (伊藤清世) 688 ⑦	職種別の三位一体の取り組み：リハビリテーション 職種 (飯田有輝) 1076 ⑪
嚥下機能と亜鉛 (土屋 誉) 717 ⑦	職種別の三位一体の取り組み：管理栄養士 (上島順子) 1082 ⑪
◇重複障害リハビリテーションの進歩	
一心臓・腎臓の重複障害を中心に	
特集にあたって (上月正博) 731 ⑧	
重複障害のリハビリテーションの定義と課題 (上月正博) 732 ⑧	
心臓・腎臓の重複障害(心腎連関症候群)とは (松尾実紀 吉原史樹) 739 ⑧	
心臓・腎臓の重複障害の急性期リハビリテーション (牧田 茂) 750 ⑧	

職種別の三位一体の取り組み：歯科職種の役割 (白石 愛)	1088 ⑪
---------------------------------	--------

◇災害リハビリテーション

一能登半島地震での経験を経て

特集にあたって (菊地尚久)	1153 ⑫
発災時の JRAT 活動 (栗原正紀)	1154 ⑫
石川 JRAT の活動 (西村一志)	1161 ⑫
JRAT-RRT の機能とその活動(福岡正雄)	1168 ⑫
地域 JRAT からの派遣活動(千葉県) (菊地尚久)	1173 ⑫
地域 JRAT からの派遣活動(静岡県) (山内克哉)	1181 ⑫
地域 JRAT からの派遣活動(広島県) (椿田悠馬 塩田繁人・他)	1188 ⑫
【コラム】JRAT へ参加するために一災害リハビリテ ーションに興味をもたれた方へ (船越政範)	1193 ⑫

◇痙縮治療最前線

巻頭カラー	
反復性経頭蓋磁気刺激(rTMS)を用いた痙縮治療の 戦略 (佐々木信幸)	1240 ⑬
第1章「痙縮に関する基礎的な知識」	
痙縮の病態生理 (正門由久)	1248 ⑬
痙縮の臨床的な評価 (大田哲生 田中伸吾・他)	1254 ⑬
痙縮による歩行障害の評価 (竹田信彦 長谷公隆)	1260 ⑬
第2章「併用療法」	
物理療法との併用療法 (菊地尚久)	1268 ⑬
装具療法との併用療法 (勝谷将史)	1274 ⑬
下肢痙縮に対する理学療法 (大畑光司)	1282 ⑬
薬物療法, 神経ブロック療法との併用療法 (伊藤英明 松嶋康之・他)	1287 ⑬
ボツリヌス療法を用いた痙縮治療の戦略と併用療法 (原 貴敏)	1292 ⑬
上肢痙縮のコントロール (中馬孝容)	1306 ⑬
上肢痙縮に対する作業療法 (竹川 徹 鈴木翔太・他)	1313 ⑬
痙縮に対する ITB 療法と併用療法 (内山卓也)	1320 ⑬
下肢痙縮に対する手術療法との併用療法 (幸田 剣)	1328 ⑬
第3章「多職種連携」	
ボツリヌス療法と医療連携—大学病院の立場から (川上途行)	1336 ⑬
回復期リハビリテーション病棟における痙縮のチー ム医療 (岡本隆嗣 渡邊 匠・他)	1342 ⑬
過疎地域リハビリテーション中核病院における痙縮 治療の普及 (山田祐歌)	1354 ⑬
訪問診療等, 地域での痙縮治療について (神山一行)	1360 ⑬

【コラム】

多職種連携について—リハビリテーション科専門医 の立場で (吉岡和泉)	1265 ⑬
チーム医療としての多職種連携—痙縮治療の評価につ いて (藤澤大介 武田 明・他)	1303 ⑬
治療へのアクセスとしての多職種連携について (田津原佑介 幸田 剣)	1351 ⑬

◇AWGC2023 基準の悪液質と

リハビリテーション医療

特集にあたって (吉村芳弘)	1381 ⑭
Asian Working Group for Cachexia による悪液質 (吉村芳弘)	1382 ⑭
骨格筋の質の評価 (山田 実)	1388 ⑭
がん患者における悪液質の病態とマネジメント (坂口達馬 森 直治)	1394 ⑭
慢性心不全患者における悪液質の病態とマネジメント (小西正紹)	1401 ⑭
慢性腎不全患者の悪液質の病態とマネジメント (齊藤正和 濱田大樹・他)	1408 ⑭
慢性閉塞性肺疾患患者の悪液質の病態とマネジメント (柳田頼英 飯田有輝)	1414 ⑭
【コラム】サルコペニアの摂食嚥下障害患者における 悪液質・低栄養と臨床推論 (前田圭介)	1420 ⑭

●知っておきたい神経科学のキーワード

23. 運動錯覚 (金子文成)	68 ①
24. Neuroprosthetics (西村幸男)	173 ②

●リハビリテーション医療における 安全管理の一工夫

II. 回復期リハビリテーション病院における安全管 理：5. 回復期リハビリテーション病院における 災害対策と設備管理—病院産業医の視点から— (小倉康平)	80 ①
II. 回復期リハビリテーション病院における安全管 理：6. 院内研修の実際 (宇内 景 菅原英和)	183 ②

●リハビリテーション医学・医療の 歴史秘話“あの時になが?”

13. 回復期リハビリテーション病棟協会 (三橋尚志)	290 ③
--------------------------------	-------

●リハビリテーション診療における Evidence-Based Practice

9. Evidence-Based Practice 教育 (有家尚志)	75 ①
10. 変形性膝関節症患者の理学療法における Evidence-Based Practice (瓜谷大輔)	188 ②

11. 神経難病リハビリテーション診療における Evidence-Based Practice 実践 (有明陽佑) 283 ③	4. 下肢装具(治療用装具) (浅見豊子) 163 ②
12. 脳卒中リハビリテーション診療における Evidence-Based Practice 実践 (岩澤尚人) 382 ④	5. 下肢装具(補装具) (和田 太) 264 ③
●巻頭カラー デザインが拓くりハビリテーションの未来	6. 体幹装具 (遠藤達矢 白土 修) 365 ④
9. AI 技術を活用したスマートコーチング技術 (栗田雄一) 5 ①	7. 体幹装具(小児用補装具) (芳賀信彦) 476 ⑤
10. 補助人工心臓患者へのリハビリテーション (小池俊光 黄野皓木・他) 205 ③	8. 義足(訓練用仮義足から補装具まで) (陳 隆明) 573 ⑥
●認知症の基礎知識とリハビリテーション	9. 義手(能動義手, 筋電義手, 装飾義手, 作業用 義手) (田中洋平) 784 ⑧
7. 生活障害に対する分析の視点と支援 (谷川良博 糸原郁美) 85 ①	10. 小児の義手と義足 (藤原清香 柴田晃希) 907 ⑨
8. 認知症と嚥下障害 (野原幹司) 178 ②	11. 補装具における医学的意見書の書き方 (西嶋一智) 1011 ⑩
9. 認知症におけるコミュニケーションのコツ (大庭 輝) 277 ③	●リハなひと
10. 認知症の治療介入における倫理的ジレンマ (箕岡真子) 349 ④	1. 感情環境デザイナー／作業療法士 杉本聡恵さん 2 ①
11. 軽度認知障害(MCI)とリハビリテーション (牧迫飛雄馬) 486 ⑤	2. 理学療法士／国内旅行業務取扱管理者 鈴木洋平さん 102 ②
12. 認知症治療病棟でのリハビリテーション (奥出 聡) 562 ⑥	3. 看護師／リハビリ当事者 三井和哉さん 202 ③
●地域リハビリテーションの現状と今後	4. 義肢装具士／ドイツ整形外科靴マイスター 中井要介さん 300 ④
4. 広域支援センターにおける地域リハビリテーショ ン(埼玉県) (斉藤正身 岡持利亘) 61 ①	5. アンブティサッカー選手／リハビリ当事者 エンヒッキ・松茂良・ジラスさん 406 ⑤
5. 新しい地域リハビリテーション支援体制での地 域リハビリテーション (佐藤吉冲) 168 ②	6. 国境なき医師団／理学療法士 山崎陽平さん 504 ⑥
6. 都道府県支援センターにおける地域リハビリテー ション(兵庫県) (大串 幹) 270 ③	7. 言語聴覚士 渡辺 泉さん 722 ⑧
7. 広域支援センターにおける地域リハビリテーショ ン(広島県) (天野純子) 374 ④	8. 理学療法士／株式会社える代表取締役社長 河添有希さん 828 ⑨
8. 市区町村支援センターにおける地域リハビリテー ション(神奈川県横浜市) (横井 剛) 454 ⑤	9. リハビリテーション科専門医 大野洋平さん 930 ⑩
9. 市区町村支援センターにおける地域リハビリテー ション(東京都世田谷区) (佐藤庸平) 578 ⑥	10. 理学療法士／輛の浦・さくらホーム創設者 羽田富美江さん 1036 ⑪
10. 市区町村支援センターにおける地域リハビリテー ション(茨城県つくば市) (安岡利一) 810 ⑧	11. 小児整形外科医／つくば公園前ファミリークリ ニック院長 中川将吾さん 1144 ⑫
11. 地域リハビリテーションにおけるプロボノ活動 —当法人のプロボノ活動による地域づくり支援を中心— (大野重雄 梅津祐一) 895 ⑨	12. 理学療法士／株式会社シンクハピネス 代表取締役 糟谷明範さん 1370 ⑭
12. コロナ禍における地域リハビリテーション (平田好文) 987 ⑩	●ニューカマー リハ科専門医
13. 災害リハビリテーションにおける地域リハビリテー ション (松坂誠應) 1104 ⑪	草野 謙 55 ①
●知っていてほしい義肢装具とその実際	羽端章悟 151 ②
3. 上肢装具(補装具) (井上美紀 種井健太) 56 ①	稲垣良輔 251 ③
	都築圭太 353 ④
	塚本康司 459 ⑤
	金谷実華 561 ⑥
	濱崎真由 779 ⑧
	赤倉奈穂実 885 ⑨
	屋城俊洋 977 ⑩
	村上真慧 1093 ⑪
	平沢伸広 1201 ⑫
	奥山由美 1429 ⑭

●各都道府県における自動車運転に関する 公安委員会提出用診断書の書き方 —脳卒中関係

1. 東京都 (武原 格) 157 ②
2. 千葉県 (菊地尚久) 257 ③
3. 兵庫県における脳卒中後の運転再開の流れと
医師の役割 (富士井 睦) 359 ④
4. 新潟県の取り組み (崎村陽子) 467 ⑤
5. 福岡県 (加藤徳明) 583 ⑥
6. 群馬県 (伊部洋子) 804 ⑧

●リハビリテーション科医師に必要な 診察, 評価手技

1. 可動域, 筋力, 痙縮, 麻痺の評価法
(立花佳枝) 252 ③
2. 神経学的所見(反射, 各種検査)
(服部憲明) 354 ④
3. 身体機能 歩行速度(TUG, 6MWT, BBS,
SPPB) (西山一成 西村行秀) 480 ⑤
4. ADL, IADL の評価 (向野雅彦) 568 ⑥
5. 意識状態, 脳卒中スケール等(JCS, GCS,
NIHSS, FMA, SIAS, mRS) (久保 仁) 797 ⑧
6. 認知機能(MMSE, HDS-R)
(荒川英樹) 901 ⑨
7. 注意・遂行機能(TMT, BADS, WCST, CAT-R)
(佐々木信幸) 1003 ⑩
8. 半側空間無視
(松田佳奈 新堂晃大・他) 1109 ⑪
9. 失語症の評価法 (武原 格) 1219 ⑫
10. サルコペニア, フレイル, ロコモティブ
シンドローム (酒井良忠) 1422 ⑭

●リハビリテーション関連職の現状と展望

1. 看護の現状と展望—リハビリテーション看護の射程の
広がり専門分化 (粟生田友子) 390 ④
2. 社会福祉士 (島野光正) 490 ⑤
3. 公認心理師, 臨床心理士
(元永拓郎 花村温子) 589 ⑥
4. 管理栄養士 (中村丁次) 815 ⑧
5. 薬と生活をつなぐ唯一の職種となるために, 薬剤
師とリハビリテーションとの連携
(中道真理子 武田泰生) 913 ⑨
6. 介護福祉士 (及川ゆりこ) 1023 ⑩
7. 介護支援専門員 (柴口里則) 1129 ⑪
8. 歯科医師・歯科衛生士
(菊谷 武 水上美樹) 1457 ⑭

●巻頭カラー リハビリテーション科医が 知っておくべき最新の義肢構成パーツ

1. 最新のソケット「NU-FlexSIV ソケット」
(佐々木 伸) 507 ⑥

2. 最新の調整可能式大腿義足ソケット
「CONNECT® TF」 (橋本 寛) 725 ⑧
3. 最新のソケット「ダイレクトソケット」
(山崎健治) 831 ⑨
4. 最新のコンピューター制御膝継手「POWER
KNEE™」 (Thomas Habermann) 934 ⑩
5. オットーボック社製 電子制御膝継手「Genium」
(八幡清彦 和田真生) 1039 ⑪
6. 最新のコンピューター制御膝継手「ALLUX2」
(藤原健司) 1147 ⑫
7. 最新の機械式膝継手「MCK」
(月城慶一 後藤 学) 1373 ⑭

●最新版! 摂食嚥下機能評価 —スクリーニングから臨床研究まで

1. No evaluation, no therapy! 問診, 診察, スク
リーニング, 検査の流れ (青柳陽一郎) 551 ⑥
2. 改訂水飲みテスト (Modified Water Swallowing
Test; MWST)
(大橋美穂 坂口紅美子・他) 780 ⑧
3. その他の水飲みテスト (30ml, 3oz, 100ml)
(坂口紅美子 大橋美穂・他) 886 ⑨
4. 反復唾液嚥下テスト (Repetitive Saliva
Swallowing Test; RSST)
(保田祥代 小口和代) 983 ⑩
5. TOR-BSST® (The Toronto Bedside
Swallowing Screening Test) (兼岡麻子) 1096 ⑪
6. 臨床的重症度分類 (Dysphagia Severity Scale;
DSS) (加賀谷 斉 尾崎健一・他) 1202 ⑫
7. 摂食嚥下障害のグレード (藤島グレード), 摂食
状況のレベル (FILS)
(國枝頭二郎 藤島一郎) 1430 ⑭

●“こんなときどうする?” リハビリテーション臨床現場のモヤモヤ 解決! 令和版

1. リハビリテーション科運営編: ①リハビリテーショ
ン科医募集がうまくいかない (酒井良忠) 775 ⑧
2. リハビリテーション科運営編: ②リハビリテーショ
ン科スタッフの増員がうまくいかない
(千田益生) 881 ⑨
3. リハビリテーション科運営編: ③リハビリテーショ
ン科医の募集がうまくいかない(その2)
(西田康朗 三上幸夫) 998 ⑩
4. リハビリテーション科運営編: ④リハビリテーショ
ン科スタッフが定着しない (渡邊裕志) 1118 ⑪
5. リハビリテーション科運営編: ⑤リハビリテーショ
ン医療における業務効率化
(宮坂裕之 大高洋平) 1196 ⑫
6. 他科・他院交渉編: ①他科・他院からの紹介を
増やしたい (青柳陽一郎) 1441 ⑭

●リハビリテーション科医に必要な 消化器疾患の知識と近年の進歩

1. 口腔疾患 (柳本惣市) 790 ⑧
2. 食道がん周術期運動療法の有用性 (羽田綾馬 境井勇気・他) 891 ⑨
3. 胃・十二指腸疾患 (新原正大 比企直樹) 1018 ⑩
4. 肝疾患 (持田 智) 1123 ⑪
5. 胆道癌治療における近年の進歩 (志村充広 青木修一・他) 1225 ⑫
6. 脾疾患とリハビリテーション (竹山宜典 里井俊平) 1445 ⑭

●障害福祉サービスとリハビリテーション

1. 障害福祉サービスとは (菊地尚久) 992 ⑩
2. 重度訪問介護 (高木憲司) 1114 ⑪
3. 療養介護 (和田千鶴) 1213 ⑫
4. 生活介護 (齋藤 薫) 1451 ⑭

●おさえておきたい転倒・転落予防の 基本知識と現場での応用

1. なぜ、転倒予防が重要か (山田 実) 1100 ⑪
2. 転倒・転落の主な原因と対策：①加齢とADL低下 (吉村芳弘) 1206 ⑫
3. 転倒・転落の主な原因と対策：②疾患とADL低下 (佐竹昭介) 1435 ⑭

●TOPICS

- 「省察」は全人的評価に基づくリハビリテーション医療の礎となる (山中義崇) 152 ②
- 糖尿病地域連携、真に連携すべきものは何か？
—糖尿病診療の質の均一化をめざす広島県西部地区の取り組み (石田和史) 460 ⑤
- 脳梗塞に対する Muse 細胞治療 (新妻邦泰) 556 ⑥

●臨床経験

- 短期集中リハビリテーションにより高次脳機能が改善したパーキンソン病患者の一例 (佐久間香那 橋本圭司・他) 394 ④
- 発症から1年後に経口摂取可能となった重症ギラン・バレー症候群の一例 (豊田紫央李 武原 格・他) 818 ⑧

- 先天性橈尺骨癒合症に対する術後作業療法の経験 (中村亘佑 青木昌弘・他) 918 ⑨
- 急性期病院における重症心身障害児のリハビリテーション：訓練介入初期の問題点について：症例報告 (岡田真明) 1228 ⑫
- 発達性ディスレクシア児1例に対する全般的な言語指導により変化した能力の検討 (今井裕弥子 木村奈々子・他) 1460 ⑭

●臨床研究

- 回復期リハビリテーション病棟の損益管理状況と経営管理意識の要因分析—全国の回復期リハビリテーション病棟運営病院へのアンケート調査より— (磯山浩孝 荒井 耕・他) 193 ②
- ダウン症児におけるシャフリング移動と粗大運動発達 (福田亜紀 多喜祥子・他) 494 ⑤
- 痙縮の視点からみた当院における子どもの運動の問題と発達障害 (高橋義仁) 1132 ⑪

●学会報告

- 第7回 日本リハビリテーション医学会秋季学術集会を終えて (帖佐悦男) 90 ①
- 第61回日本リハビリテーション医学会学術集会 (金谷実華 藤田彩香・他) 1026 ⑩

●NEWS 速報

- 2024年6月28日「防災基本計画」にJRATが明記 (栗原正紀) 979 ⑩

●書評

- 『ポジショニング学 体位管理の基礎と実践 改訂第2版』 (日高正巳) 295 ③
- 『口腔の老化・口腔ケア・摂食嚥下障害のキホン』 (高島英昭) 1095 ⑪

●CLOSE UP !!

- 第24回バラ・パワーリフティング選手権大会 106 ②

●notice board

- 第8回 日本安全運転医療学会学術集会 554 ⑥